

青年海外協力隊OG

梅下 知子さん



【うめした・ともこ】1985年4月生まれ。厚南中、宇部高専卒。ワーキングホリデーでニュージーランドの農場で働き、帰国後も国内で農業を勉強。2010年から青年海外協力隊員としてアフリカのニジェール、ガボンで活動して帰国。

「できることをやるしかない」と奮起した。

治安悪化でニジェール撤退を余儀なくされ、第2の赴任地へ。そこは石油開発で人々が一気にリッチになった国。その国の人たちは土に触らず、近隣国から来た人たちが農業に精を出していた。「堆肥の指導などをした。とても有意義な2年間だった」と振り返る。

自分の経験を語る機会をつくりたいという。

「ニジェールでは、きょうを生きるのが精いっぱい。貧しいのに、屈託のない笑顔で食卓に招いてくれた。将来に不安を抱かず、過去を憂えず、今を生きる。自分には理解不能だったが、そうしたアフリカの生き方や考え方も伝えられたら」と語った。(古重)

アフリカの生き方伝えたい

する場にした」と語る。9月には引越す予定。起業塾も受講中。

「ただ旅するのではなく、その土地で同じ暮らしをして友達をつくりたい」。ボランティアの経験

なしで協力隊に応募した。希望した赴任地(タ

イ)ではなかったが、アフリカへの期待を込めて飛行機に搭乗。先進国が入って教えることが、生活や文化も違う人たちの自立になるのかと自問自答する時期もあったが

ひと